

# あけびだより

No. 216

2022年10月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

令和4年10月



## 新型コロナウイルス感染症の脅威

絵画教室

芹澤登代子氏

新型コロナウイルス感染症の第7波は今までにない猛威を振りました。

今回の猛威で自身や家族が感染し、危機感を感じた方も多いと思います。重症化はしないとの見解で死亡者数は少ないようですが、私たちの大切な仲間の命が奪われていき悔しく悲しくて行き場のない思いです。

N様は車椅子で過ごす事が多くなっていましたが、ディサービスも行き、食事も粗ミキサーをご自分で摂取されていた方でした。感染後すぐの発熱は2日ぐらいで治まり安堵していたところ、再度高熱が出て直ぐに往診医に対応して頂きました。施設で抗生剤や水分を補う点滴を行いました。発熱と解熱の繰り返し。ムセや咳はないが酸素飽和度は低く、吸引すると痰が非常に多くて発症8日目で急変し亡くなりました。主治医の見解は、コロナ肺炎を誤嚥性肺炎が増悪させたのではないかと。「パーキンソン(以下PD)患者の人は元々嚥下が悪いから…」とも。

ドイツでのPD患者へのコロナの影響について研究結果で、PD患者は非PD患者に比べてコロナの影響を受けやすく、死亡率も高かったとされています。その機序に関して研究段階ではっきりした根拠は証明されていませんが、悪影響があるのは統計的には証明されている様です。もともと嚥下機能低下があるPD患者さんが、コロナ感染を起こすと慎重に対処していかなければならないと強く感じました。コロナの呼吸器症状である痰や元々嚥下しにくい唾液を誤嚥する危険性が非常に高いと考えられます。

また、最近、ムセも咳もなく無症状なのに誤嚥性肺炎と診断されたケースもありました。熱もなく、酸素飽和度も正常だけど「活気なく何かおかしい」と主治医に相談し採血すると炎症反応が高くその後のレントゲンで肺が真っ白でした。

誤嚥しているのに症状が出ない事は発見を遅らせ重症化リスクが高くなります。

喉頭蓋(気管に食べ物が入らないように蓋をしている)の動きが悪いと自然に気管に流れてしまいムセない誤嚥をしやすいです。PD患者さんは喉頭蓋の動きが悪い方が多く、体重減少によりダメージを受けやすい場所。元気なうちから出来る事は、口腔体操もですが、体重を減らさない努力をする事です。こうやって何かがあると、色々考えさせられ基本的な事は実はとても大切な事だと気付かされます。

N様は、訪問看護を立ち上げ第1号の利用者様でした。当初から口腔体操等させていただいており亡くなる数日前まで経口摂取されていました。ご冥福をお祈りいたします。

### 認定・NPO法人あけび

認定・NPO法人あけび 事務所  
TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703  
グループリビングあけびの里  
TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703  
〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10  
Mail: day@akebi.or.jp

### 訪問看護ステーションあけび

〒672-8030 姫路市飾磨区阿成植木836-A  
TEL 079-262-6708 FAX 079-240-6765  
Mail: houkan@akebi.or.jp  
訪問介護ステーションあけび  
〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10  
TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703  
Mail: akebi-herupa@akebi.or.jp

### 通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3  
TEL 079-280-6931 FAX 079-280-6932  
Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp  
通所介護施設デイサービスあけびの輪  
〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1  
TEL 079-284-0055 FAX 079-284-0056  
Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp



## ～食卓に彩りも～

調理より

昼食は利用者様にとって楽しみの一つではないでしょうか。「食べること」によって生活のリズムや季節感を感じる事ができ、元気で生活するために必要な栄養を摂り入れる大切な時間でもあります。調理の組み合わせや見た目でも興味を持って楽しく食べて頂けることを心掛けています。食後には「美味しかったよ」「うまかったで」とお声を掛けて頂いたり「レシピ教えて!」とペンと紙を持って熱心にメモを取られる利用者様もおられ、作る側として嬉しい限りです。次のメニューを考えるモチベーションにもなっています。これからも創意工夫で皆様に楽しんで食べて頂ける食事を作りたいと思っています。

## お出かけ



☆お出掛け 今月は芸術の秋ということで、イーグレ姫路の日本画展へ出掛けました。利用者様のご家族の作品もあり皆さん興味深く熱心に観賞されていました。作者さんの深いコンセプトがあり、それぞれに想いを感じながら貴重な時間を過ごすことが出来ました。

## 誕生日会



お誕生日会は運動会です。紅白に分かれ①輪送り②糸ほどき③玉入れの戦い。皆さん勝負がかかっていると言わんばいっばい! 元気にハッスルされました。見事、白組の優勝です。爽やかな汗を流した後は手作りケーキでお祝いです。

## ☆今月の制作・ブドウ

半紙を丸めて絵の具で色を配合し、お箸でコロコロ～理科実験をしている気分が面白いと手の汚れも気にせず。。。しっかり天日干しをし乾燥させたらボンドでブドウの形になるように貼っていきます。ツルの部分は毛糸で鎖編みをして下さいました。色とりどりのブドウが完成!



# リハビリ

★リハビリ体操 継続は力なり！コツコツ  
続けて頑張っておられます！！

# あけびの輪



★最近コロナで思うように外出できません。そこで制作活動で楽しんで頂けるよう工夫を凝らしています。今月の共同作品は、秋の紅葉のちぎり絵です。個人作品はタオルハンカチで、テディベアとウサギを作りました。



★9月の誕生会はゲーム大会でした。ポッチャゲームとビー玉ピンボールを楽しんでいただきました



## 朝のミーティングより

★ある日の朝のミーティングで、介護してくれる人の気持ちについて話が盛り上がりました。その中でKさまが奥さまとの関係性の中でお作りになったあいうえお作文を紹介してくださいました。

『感謝の言葉』

あ あなたに伝えたい言葉があります  
 け 健康と共に相互理解しあい  
 び 微細なことが不安となっても  
 の 残りの人生感謝の心と心をつかち合えば  
 輪 わかってもらえるよあなたの気持ち

ありがとう

いつも感謝の気持ちを忘れず、ことばにして伝えたいですね！

## 人生会議を思い起こして

★この夏、あるスタッフが実家で父親の看取りをしました。その時の経験を皆さまにお話ししたところ、ある利用者さまが感想文を寄せてくださいました。

『姉妹、親子、夫婦など年齢も環境も違う家族が一つになって90歳のお父様の癌とその先にある死。誰にでも、いつかやってくる一つの大切な出来事です。それを経験され私たちに考えるきっかけをくださった事、本当に心に沁みました。謹んでお悔やみ申し上げますと共に、お母様が平穏な日常が送れますようにお祈りいたします。人生会議の実践のように思います。』

自分や家族がいざという時に“自分が望む医療やケアを受けられるように”話し合いをする機会を持つ事は、とても大切な事ですね！

# グループリビングあけびの里

## 訪問看護ステーションあけび

## 訪問介護ステーションあけび

友の会の全国誌（NO.169）お読みになりましたでしょうか。  
常より感じていたことが掲載されていたので、感想としてまとめてみました。

★全国パーキンソン病友の会  
会報（No169）より

1) **パーキンソン病治療の現場**、新潟大学脳研究所の松井教授のお話が掲載されていました。地道な気の遠くなるような時間を費やしての基礎研究。ノーベル賞受賞の時には、華々しく報道されますが、そこに至るまでの努力を考えると本当に頭が下がります。「残念ながら今日本は基礎研究の危機を迎えています。研究費の面もそうですが、一番深刻なのは、研究者になりたいという若者が減っていることです」と語られています。

昨今のニュースでも研究者の待遇の悪さがよく取り上げられ、若者が夢をもって研究に取り組めない現状があるようです。国のお金の使い方を注視するべきかと思えます。

2) **河野磐の物語です**。奥様の河野都様には開設当初からいろいろとご指導いただいたり励まされたりと、交流を持つことができました。御主人が全国友の会を立ち上げてこられたということもお聞きしていましたが、やはり、先人と言われる方々の強い思いが、今の時代の礎になっているということを改めて思い知らされました。どんな運動にも始めた人の苦勞を思い、今ある幸せをかみしめなければならないと思います。パーキンソン病の患者会を立ち上げるためにはその前を走っておられたスモン病の方たちの戦いも忘れることはできません。「昭和47年にスモン病を契機として難病対策要綱が策定されました。当時は、スモンのほかに森永ヒ素ミルク事件、水俣病など、薬害と言われる事象が多く出ていた時期です。」「一日も早く私たち患者が、人間として、社会人として、この世で生きていかれるように活動せねばならぬ」という強い思いで学習会や講演会などを開き患者に働きかけ、全国組織を作り始めた。労働組合の応援、厚生省への陳情など、動けなくなる身体を鼓舞し、全ての難病患者と障がい者を励まし勇気づけました。「昭和53年パーキンソン病治療費の公費負担が決定されると各県友の会が結成されました。」「永久の既得権としての公費負担がされるわけではない。いつも脅かされてるものとして考えなければならない。」「特に“希少性”について、人口比で0.1%を超えたら、指定難病から外し（2015施行の難病の定義による）目先の出費に一喜一憂し、防衛費には使っても国民の健康など二の次、三の次でいいとする政治家や厚生省のやり方だ。」公費負担が当たり前と思っておられる方もあるかもしれませんが。どんな運動でも先人の人たちが、戦い取ってきたものです。そのことに思いをさせ、大事に育てていかなければならないと思います。是非目を通してください。

3) 福岡パーキンソン病診療センターの坪井先生が話されている**ピアカウンセリングの重要性**です。ピアカウンセリングについては“あけびだより”で何度か紹介させていただきましたが、患者・家族の交流会はもとよりデイサービスの中でも、ピアの力はいかなく発揮されています。友人をあけびに紹介した時は、うまくなじまれるだろうかといつも不安を抱えるのですが、なんの何の、パーキンソン病という接着剤が皆さんを融合させ、自分の抱えている不安や質問を投げかけ、仲間になられるのが早いこと。仲間という言葉もよくつかわれます。これぞまさしくピアではないでしょうか



お知らせ



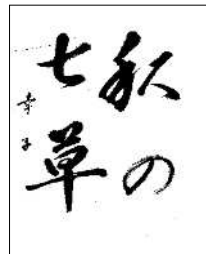
難波隆 氏



中谷恭平 氏



浅山久志 氏



橋本幸子 氏



殿納七恵 氏

### 医療相談会

西播磨病院  
水田英二先生  
日時：10月21日 [金]  
13:00～（要申込）  
場所：あけびの輪  
tel 079-284-0055

### パーキンソン病友の会兵庫県支部 姫路ブロック

\* 10月患者・家族交流会  
[日時] 10月16日 (日) 13:00～  
[場所] あけびの実  
[会費] 1家族 500円



### 「卓球クラブ」練習日

10月4日・18日 (火)

場所：ルネス花北体育館  
持物：上靴・ラケット

連絡先 (280-6931)